

中学校 1年 美術科

感じる
考える

話す・聞く
書く

育成したい
国語力

気付いたことや感じたことを言葉にして整理することにより、ものの見方、感じ方をより深める。
感じたことを自己の体験や知識と結び付け、新たな発想を考え出す。

単元名

「ガラスコップをスケッチしよう」

描写を中心としたスケッチ

題材の流れ

- 第1時**
- 1 ガラスコップをスケッチする。(スケッチ1)
 - 2 みんなのスケッチを見て気付いたことを話し合う。
 - 3 形や質感の表し方についてポイントをまとめる。

- 第2時**
- 1 前時を振り返り、形や質感の表し方を確認する。
 - 2 再度、ガラスコップをスケッチする。(スケッチ2)
 - 3 前時のスケッチと比較し分かったことをまとめる。

国語力育成の視点

気づきを言葉にしてものの見方やとらえ方を整理することで、「感じる力」を育成します。
お互いが感じたことを話し合い、比べたり関連付けたりしながら「考える力」を育成します。

第1時の目標

スケッチを通して対象としっかりと向き合い、ものの見方・感じ方を深め、表現方法の工夫について考える。【発想や構想の能力】

第1時の流れ

導入

本時の目標の確認
「見慣れているガラスコップと向かい合い、スケッチをしてみよう！」
・自分の描写力を発揮して、ガラスコップをスケッチする。

展開1

スケッチ1 A5程度の(15×21cm程度)画用紙

展開2

スケッチの鑑賞
・全員の作品を掲示し鑑賞する。
作品を見て気付いたことを書き留める
・「よく見ているな」「工夫した表現だな」「こんなところがすてきだな」など、自分が感じたことを付箋に書き出す。(付箋:5×5cm)
グループで意見交換し「スケッチの秘訣」をまとめる
・3～4名のグループに分かれる。
・気づきを書いた付箋をワークシートに貼りながら意見交換する。
・意見交換しながら「スケッチの秘訣」について考えを出し合い、案をまとめる。

まとめ

意見交換の様子を紹介

次時の予告

視点①

感じる力
作品の上手・下手を見るのではなく、ガラスコップの「どんな点を注意して見ているか」「どんな表現の工夫をしているのか」など作者の見方やとらえ方を作品から感じ取り書き出します。

視点②

考える力
意見交換しながらワークシート上に分類したり、書き込みをしたりしながら「考える力」をはぐくみます。

ワークシート

目の付け所

見方・とらえ方を考えてみよう。

ガラスの厚みを感じている。厚みが分かる。

付箋

記入例

右の形と左の形を比較して見る。

光っているところを見つける。

話し合っただけの意見は青色で記入する。
点線の矢印は関連があると考えたことを示す。

ワークシートは、模造紙半分の大きさ。
マジックなどを使って自由に書き込む。

ワークシート スケッチの秘訣(案)

グループのメンバー 氏名

表現の工夫 どのような描き方があるのかな

ガラスの口の部分でガラスの厚みを出す。

右と左が対象

中心線を引いて描く。

きらきら光って見える

光っている所以外を塗る
消しゴムで消して光らせる。

第2時の目標

スケッチを通して対象としっかりと向き合い、ものの見方・感じ方を深め、表現方法の工夫について考える。【発想や構想の能力】
ガラスコップを観察し、その特徴をとらえてスケッチすることができる。【創造的な表現の技能】

第2時の流れ

展開1

前時を振り返り、グループでの話し合いをまとめた上でグループで話し合った「スケッチの秘訣」案を発表(一斉)
2枚目のスケッチの目標をもつ(個人)
・発表から共通したポイントや重要なポイントをまとめ、目標をもつ。

視点③

考える力

発表を聞き、自分の考え方や感じ方との共通点や相違点を見付けながら「考える力」を高めます。

展開2

スケッチ2 (前回のスケッチと同じ大きさ、同じ時間の設定)

視点④

感じる力

2枚のスケッチを比較し、どのように変わったのかを感じ取りながら整理します。

まとめ

2枚のスケッチの違いをまとめる(個人)
*指導者が、ものの見方や表現方法の工夫についてまとめる。

ワークシート

1年組 氏名

グループからの発表を聞いて、全体に共通していると思ったことや重要だと感じたこと

2枚目の作品で気を付けたいことや目標にしたいこと

1枚目の
スケッチ
貼り付け

2枚目の
スケッチ
貼り付け

2枚のスケッチを比較して感じたことや学習のまとめ

低学年

中学年

高学年

中学前

中学後

音楽

美術
芸術

家庭
技術
家庭

保健
体育

特別
活動

道徳

総合
学習